

(仮称) 浮世絵展の開催について

歴史的に貴重な浮世絵を数多く所蔵される川崎・砂子の里資料館から、多摩川の風景を描いた作品等を無償で借用し、狛江市内で(仮称)浮世絵展を行います。

当事業は、平成27年8月に狛江市制施行45周年記念事業として「狛江市民花火大会」を実施した際に、多摩川を挟んで対岸にあたる川崎市等に協力をいただいたことがご縁となり、実施するものです。

※ 川崎・砂子の里資料館

神奈川県川崎市川崎区砂子の、旧東海道沿いにあった私立美術館で、2016年9月に閉館しました。館長・斎藤文夫氏の浮世絵コレクションが展示の中心で、初期浮世絵から幕末に至る美人画・役者絵、歴史絵・風景画など幅広く所蔵されています。特に開港当時の横浜絵は県立博物館に次ぐ所蔵を誇っています。

1 実施予定主体

主催：狛江市観光協会 共催：狛江市

2 目的

市内で歴史的に大変貴重な浮世絵を展示することで、市民が文化・芸術に触れる機会を提供する。また、展示作品に多摩川の風景を描いた作品も展示することで、市民の郷土に対する愛着の醸成につなげるとともに、市外へ当該事業を発信し市のPRにつなげることを目的とする。

3 開催予定日時

開催予定期間：平成29年10月13日(金)から10月25日(水) ※13日間
※開催初日に、オープニングセレモニーとしてギャラリートークや浮世絵の内覧会を予定しています。

4 開催予定場所

泉の森会館 2FギャラリーA・B
(住所：東京都狛江市元和泉1-8-12)

5 来場予定者数

1万2千人

6 問い合わせ

狛江市観光協会事務局(狛江市市民生活部地域活性課内)
03-3430-1111(内2224)